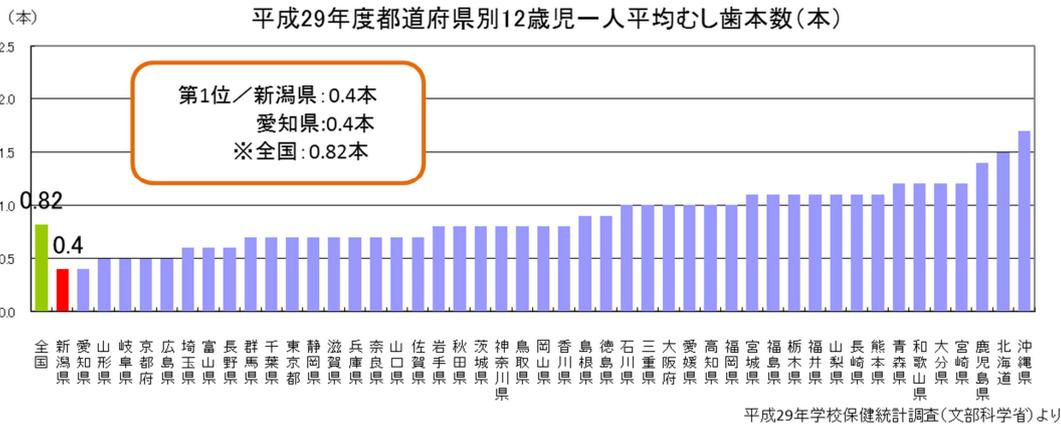


本県の 12 歳児のむし歯本数は全国最少 18 年連続日本一！

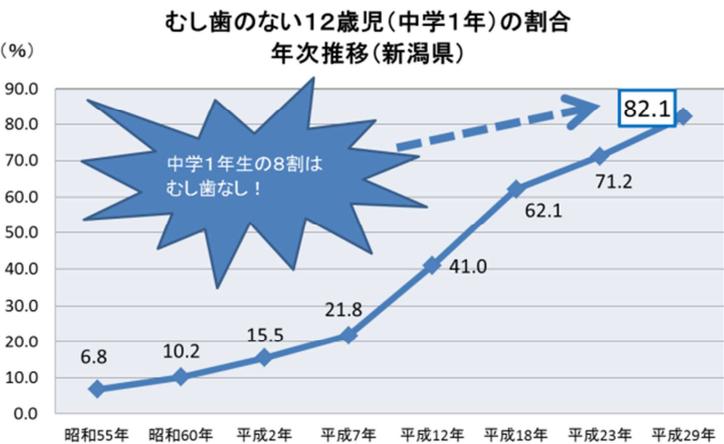
文部科学省の平成 29 年度学校保健統計調査によると、本県の 12 歳児(中学 1 年)のむし歯数は全国で最も少なく、0.4 本となりました。18 年連続日本一を達成しました。

また、平成 29 年歯科疾患実態調査(新潟県)によると、むし歯のない 12 歳児の割合は 82.1%と、調査を開始した昭和 55 年から最も高い結果となりました。

本県では、昭和 56 年の「むし歯半減 10 か年運動」から、行政や歯科医師会、大学、教育委員会等が一丸となって、全国に先駆けて学校におけるフッ化物洗口を行うなど、子どものむし歯予防対策を積極的に推進してきました。



※永久歯がほぼ生えそろう 12 歳児のむし歯数は、国際的な比較にも用いられる代表的な指標です。むし歯数には、治療済の歯も含まれています。



○むし歯のない 12 歳児の割合
永久歯のむし歯ができたことがない 12 歳児の割合です。

○歯科疾患実態調査(新潟県)
本県では、昭和 55 年から毎年、県内すべての保育所、学校等を対象にむし歯の実態調査を行っています。

歯科疾患実態調査(新潟県)

本件についてのお問い合わせ先
健康対策課 歯科保健係 杉本
(直通)025-280-5934 (内線)2708

別紙(補足)

1 本県における子どものむし歯予防の取組

(1) 学校等におけるフッ化物洗口の実施

- ・ 昭和 45 年、全国に先駆け県内の小学校で始まり、市町村事業として各地へ普及
- ・ 県は、市町村が行うフッ化物洗口の経費の一部を補助(昭和 56 年～)

(2) 学校と歯科診療所との連携によるむし歯予防を全県で展開

- ・ むし歯になりやすい子どもに対し、予防のために、学校が医療機関への受診勧奨を行う。

(3) 学校等における給食後の歯磨きや歯科保健指導

[実施している学校等の割合(%)]

	保育所・幼稚園 幼保連携認定こども園	小学校	中学校
フッ化物洗口	73.6	89.4	47.3
歯みがき(給食後等に実施)	94.7	95.6	72.4
歯科保健指導	86.6	99.2	94.1
歯垢染色剤による磨き方の評価	42.7	96.2	80.1
デンタルフロスの指導	9.9	81.8	81.3

平成 29 年歯科疾患実態調査(新潟県)

2 県では「^{けんこう}にいがた健口文化」の醸成を目指しています。

- ◆お口の健康のための心がけや行動が、習慣として家庭や地域に根付き、当たり前から子、子から孫へ伝わり、やがて新潟の文化となることを目指しています。
- ◆子どものむし歯数が少ない一方で、子どもの頃のよい習慣が成人期以降に継続されず、高齢期に多くの歯が失われてしまうことが課題となっています。
- ◆6月の「歯と口の健康週間」とともに、11月を「にいがた健口文化推進月間^{*)}」に設定し、生涯を通じた歯と口腔の健康づくりを推進します。※ 詳しくは新潟県HPをご覧ください。



[<http://www.pref.niigata.lg.jp/kenko/1356770477396.html>]

^{*)} 本県は、全国初の「歯科保健推進条例」を制定しました。本月間は、条例第 13 条に基づき設定されています。

● 6月4日から10日は 「歯と口の健康週間」です

県内各地で様々な行事が開催されます。

- ・ 無料歯科健診・相談
- ・ かむ力のチェック体験コーナー
- ・ むし歯予防図画・ポスター展示等

※ 詳しくは(一社)新潟県歯科医師会の

HPをご覧ください。 [<http://www.ha-niigata.jp/topics/eisei/>]

